

祥雲寺の縁起



祥雲寺は、大本山が特賜興禅大燈国師開山の京都紫野大徳寺で、山号を瑞泉山という。

筑前福岡城主黒田忠之の開基で、開山は龍岳宗劉。はじめ忠之の父・長政は、龍岳の道徳を崇敬し、しばしばその法話を聞いていた。

長政が元和9年(1623)に歿すると、忠之は父の冥福を祈るために、赤坂溜池の邸内に一寺を建立。

長政の法名・興雲をとって龍谷山興雲寺と号し、龍岳和尚を請じて開山としたのが、当山の起立である。

龍岳は、石州の人。大徳寺塔中玉林院開山・月岑和尚の嗣法で、寛永3年(1627)、後水尾天皇から竺仙大法禅師の微号を賜わり、同5年(1628)に寂した。

寛永6年(1629)、麻布台いまの市兵衛町に移り、号を改めて瑞泉山祥雲寺と称した。寛永8年(1631)、火災に罹りふたたび渋谷に移転、すなわち現在の場所である。

江戸時代を通じて、当山は大徳寺派の触頭として、寺格を別格地と称し、登城して将軍に単独で謁見することと乗輿とを許された寺で、幕府との関係も深く、歴代将軍の立ち寄ることも多かった。

住職は2代目以後輪番制で、明治になり廢した。本尊は釈迦牟尼仏。



新規墓所区画のご案内

国際色豊かな高級住宅街として名高い広尾。ここに祥雲寺があります。文化財を多く抱え、境内は歴史ある建造物を擁している一方で、一步外へ出ますと、モダンな商店街で多くの人が賑わっています。都市と歴史が調和する広尾の地で、墓所を持つことができます。お気軽にお問い合わせください。

端泉山 祥雲寺



端泉山 祥雲寺

東京都渋谷区広尾 5-1-21

祥雲寺 指定石材店

株式会社 彩石

【お問い合わせは】

〒351-0007 東京都港区南青山 2-26-34

TEL: 0120-148324

彩石

検索

<http://www.saiseki.net/>

祥雲寺の史跡・行事



当山には筑前国（現在の福岡県）福岡藩の初代藩主、黒田長政公の墓所がございます。黒田長政公の墓所は渋谷区の指定文化財に認定されています。



- ・大名墓地群（福岡藩の分家である秋月藩主黒田家、久留米藩主有馬家、など）
- ・岡本玄治（げんや）墓（1587～1645年。江戸幕府の医官。曲直瀬正慶に医術を学び、3代将軍徳川家光の病を2度にわたり治した。曲直（まな）瀬（せ）流一門医師の墓（世界で初めてカルテを用いた曲直瀬玄朔（げんさく）とその一門のお墓）



鼠塚（明治 32 年（1899 年）からペストが大流行した際に予防のため殺されたネズミを供養するための塔）



当山は文化財を多く抱え、多くの茶室があるなど境内は非常に歴史のある建造物を擁しています。

茶の湯文化との縁が深い紫野大徳寺派の名刹にて、茶道教室を開催しています。



開山式法要

当山で重要な行事である開山式
美しい紅葉に囲まれ、厳かに執り行われます。



祥雲寺墓苑

入檀の流れ

- ①臨済宗大徳寺派に入檀手続き
- ②住民票を提出
- ③永代使用料を入金
- ④入金後 1 年以内に建墓工事を行う
- ⑤開眼法要・納骨

入檀諸費用等

| | |
|-------------------|---------|
| ▶入檀費用等 | |
| 永代使用料 (3 尺 × 3 尺) | 300 万円～ |
| 墓石工事 | 100 万円～ |
| 年間管理費 | 1 万円～ |

※区画の広さ・石種により異なります。



墓石イメージ



新区イメージ